

陳 情 文 書 表

平 3 0 陳 情 第 1 8 号	平成 3 0 年 1 1 月 1 5 日 受 理
件 名	コミュニケーション能力の向上のため、ピアサポートの取組みをさらに広げることを求める陳情
陳 情 者	秦野市平沢 2 5 5 0 - 1 (公益社団法人秦野青年会議所内) 秦野高校生議会 2 0 1 8 教育委員会 副委員長 小野 莉愛
陳 情 の 要 旨	
<p>秦野市においてもグローバル化が進み、多様な価値観、自分とは異なる文化や歴史に立脚する人々とともに、経験したことのない課題を解決しなければならない「多文化共生」の時代を迎えていると思います。私たち高校生の世代は仲間やコミュニティーを形成する機会が不足しており、等質的なグループや人間関係の中でしか行動できず、立場の異なる人々によるグループ等で課題を解決することが苦手であったり、回避する傾向にあるという指摘もあります。このような時代を生きる子どもたちはより一層のコミュニケーション能力が必要になってくると私たちは考えます。</p> <p>そこで、現状の問題点でもある、コミュニケーション能力の低下や小学校から中学校へ進学した際に対応できない生徒などに対し、仲間を支える、共に協力するためのプログラムを取り入れる必要があると考えます。</p> <p>秦野市ではピアリーダー研修会というプログラムがあります。立場の異なる仲間とのコミュニケーションを通じて、積極性や人との関わり方を学べるというプログラムだと感じました。そのような機会を研修会に限らず多くの生徒に与えれば、グローバル社会に対し対応できる人材育成につながると考えます。</p> <p>プログラムの内容は、中学 3 年生と中学 1 年生の交流の機会をつくり、一つの問題に対し、共にコミュニケーションをとり、協力していく内容です。ここでは、大人ではなくピアリーダー研修会に参加した生徒が中心になって活動することで問題解決につながり、また、市内のリーダーとなる人材のさらなる育成につながると考えます。</p> <p>これらを取り入れることで、国際社会を生き抜く異文化コミュニケーション能力、社会に出てから最初に直面する世代間コミュニケーションの問題を克服する能力、楽しい学校生活を送るために人間関係を形成していく能力など、多様なコミュニケーション能力はいずれもこれからの時代を生</p>	

きる子どもたちにとっての基礎的な能力の向上につながると考えます。また、ピアリーダー研修会に今まで以上に多くの生徒に参加してもらうためにもっとPRをしていただきたいと思います。

陳情事項

- 1 ピアリーダー研修会に参加した中学3年生を中心に下級生との交流の場をつくってほしい。
- 2 ポスターやSNSを活用し、全生徒にピアリーダー研修会への参加を促してほしい。